

2022年7月吉日

熊本市薬剤師会会長
丸目 新一 殿

熊本大学病院 薬剤部長
齋藤 秀之

「熊本大学病院・標準的薬物治療指針(院内フォーミュラリ)」の策定と
情報共有について

平素より、当院院外処方箋の応需等にご協力賜り感謝申し上げます。

わが国では、近年の医療費増大に伴い、国民皆保険制度を維持するための医療費削減に向けた具体的な取り組みが喫緊の課題となっております。このような課題解消に向けた取り組みの一環として、1980年代から欧米諸国では、標準薬物療法に基づいた「医薬品適正使用」の観点からの医療費削減効果が明らかとなっているフォーミュラリ導入が進められており、近年、国内におきましても医療機関もしくは地域ごとのフォーミュラリ策定が活発化し、最適な医療提供と医薬品費削減を企図した実効性のある取り組みとして定着しつつあります。

このような状況を鑑み、当院では、国内外の科学的エビデンスに基づいた医療・薬物治療の推進、後発医薬品・バイオシミラーの評価・有効活用、院内採用薬剤品目数の削減、薬剤購入費の削減、不適切な薬剤使用に伴う医療事故の防止等の視点を踏まえ、治療(薬効)分類ごとに使用される薬剤について、有効性、経済性並びに安全性の観点から評価した標準的な薬物治療指針(院内フォーミュラリ)の策定を2021年9月より開始しました。院内フォーミュラリは、当院採用薬について治療領域ごとに専門医師と薬剤師による評価に基づいて策定しており、現在までにインフルエンザ治療薬、ビスホスホネート製剤(経口薬)、PPI・P-CAB(経口剤)の3領域について評価が終了し、本院にて承認・周知されております。今後、順次対象領域の追加ならびに一定期間後の再評価を実施する予定としております。

つきましては、保険薬局との情報共有を目的として、評価が完了した院内フォーミュラリを当院薬剤部ホームページに順次公開いたしますので、適正使用・安全管理推進の観点からは是非ご活用頂きますよう、貴会会員施設に対しご周知方よろしくお願い申し上げます。

【情報公開について】

公開日：2022年8月22日(月)

公開場所：熊本大学病院薬剤部ホームページ (<https://www2.kuh.kumamoto-u.ac.jp/pharmacy/>) <保険薬局の皆様へ<院内フォーミュラリ一覧